

ちよつとそこのまで

わがまち散歩

道すがら、心通わす人がいる
古里の温もりに包まれながら
あちらこちら、わがまち散歩



一年が過ぎるのはあっという間。先頃まで汗ばんだ日があったかと思えばたちまち冷え込み、すでに師走の音が聞こえてきます。
さて今年最後のわがまち散歩は、福田校区を訪れました。

懐かしい 文房具店の今

冬の外気にさらされても、真昼の日差しは温かさに包まれると、心も足どりも軽やかになります。県道熊本高森線から九州産交バス木山営業所へと南下し、さらに進み秋津川を越えると福田校区です。小柳橋のたもとに「ショップ・トヨタ」があります。ここはノルディック・ウォークの益城ステーションですが、以前は文房具店でした。「23年ほど文房具店を営みまして」と話す店主の豊田絹子さんは、ノルディック・ウォークの指導員でもあります。「2本のポールを使って歩く4足歩行の魅力は、膝や腰への負担が軽減するところですよ」と豊田さんは言っていて、「今もこうしてこの場所を開放していると『おばちゃん元気?』と、すっかり大人になった懐かしい顔ぶれが声をかけてくれます」とうれしそうに話してくれました。



小柳橋のたもとにある「ショップ・トヨタ」。地域の多くの子どもたちに親しまれた文房具店でした



ノルディック・ウォークの指導員をしている豊田さん

女性たちの厚い信仰 「南のお稲荷さん」

豊田さんの店の前を走るのが県道57号（益城矢部線）。古くは町と矢部方面をつなぐ幹線道路で、近くに木山城や赤井城があったことで、この路線の重要さをうかがい知ることが出来ます。そして福田校区には、貴重な史跡が数々残っています。
赤井川に架かる福原橋を渡った南集落に「紫雲山明覚寺」（南の観音さん）があります。ここは修験僧の修行や布教の寺院だったと考えられています。「福田校区には山



南集落で大切に守られている「紫雲山明覚寺」。通称「南の観音さん」で親しまれています



赤井川に架かる福原橋から、のどかな風景が広がります



「南のお稲荷さん」のお堂や境内は、南集落の人たちにより美しく掃き清められています



女性の信仰者たちの名前が並ぶ、「正一位稲荷大明神（南のお稲荷さん）の寄進札